

今回は、2学期に行った道徳の授業の様子に加えて、私たちが取り組んでいる研究についてご紹介します。

○神埼中学校の研究について

心豊かで自他を大切にすることができる生徒の育成
～さまざまな「対話」を取り入れた道徳科の授業と家庭、地域を通して～

研究で掲げたテーマのもとに、2学期は、1年生は「公正・公平」、2年生は「思いやり」、3年生は「友情・信頼」の項目で研究授業を行いました。特に力を入れているのは「対話」の部分で、神埼中学校では授業で4つの対話に力を入れて授業に取り組んでいます。

- ①自分との「対話」 → 自分自身を振り返る
- ②他者との「対話」 → 考えを広げる、深める
- ③教材との「対話」 → 物語の主人公に寄り添い考える
- ④教師との「対話」 → 異なる価値観を与えて考えを揺さぶる



また授業後の検討会を通して、さらに良くするためのアイデアや指導法を話し合いました。今年度は県内の小・中学校の先生方も来校され、活発な意見交換を行うことができました。

1年生：『あふれる愛』 項目：生命の尊さ ・ 『バスと赤ちゃん』 項目：思いやり

「あふれる愛」では、マザーテレサの生き方から、どんな「命」も差別することなく大切なものであることを学習しました。助かる見込みのない老婆を、多くの命を救わなければならない院長が説得する場面では、生徒から、「**助けてあげたいけど、自分ではどうしようもできない。**」、「**生きている人を一人では死なせたくないという信念が院長を動かした。**」などの意見が出されました。「自分はこの世に不必要と思いきこんでいる人にこそ愛が必要だ。」というマザーの言葉は、強く心に残ったのではないかと感じています。

「バスとあかちゃん」では、他者への配慮や思いやりを大切にしながら社会とかかわっていくことについて学びました。母親の立場、乗客の立場、「赤ちゃんは泣くのが仕事。乗せていってください」とアナウンスした運転手の思いについて、話し合いました。「**運転手の思いに気づき、みんなが自分に置き換えて考えることができた。**」
「**『うるさいのが迷惑』という意識が『当たり前のことだ』と変わったことで、乗客から拍手が起こった。**」などの意見が出されました。「**もし自分が乗客だったら、(母親の気持ちを楽にしたいので) 気にしないで。**」と声をかけるという意見もありました。

学校生活でも思いやりをいろいろな形で表現してもらえたらと思います。



2・3年生はウラにあります。

2年生：『夜のくだもの屋』 項目：思いやり

「思いやりとはどのようなものだろう。」という問いに対して、教材から感じた自分の考えをもとに、たくさんの友達と意見を交換し、自分の考えを多面的・多角的に広げるためにグルーptークを行いました。グルーptークの中では、「どうしてそう思ったの?」「もっと詳しく!」「例えば?」など、考えを深めていく会話も聞こえてきました。最終的には、「見返りを求めてするものではなく、相手が少しでもうれしくなるよう行動すること」「その行動によって誰かが笑顔になったり、元気づけられたりするもの」「相手に伝わらなくても、その人のために自然と行動できること」などの意見が出ました。日常生活には、自分が気づいていない「思いやり」であふれています。これからも、道徳の授業に留まらず、学校生活や教育活動を通して、思いやりに気づく力、相手の気持ちを考えて行動する思いやりの心を育てていきたいと思ひます。



3年生：『ゴリラのまねをした彼女を好きになった』 項目：友情・信頼

この教材は、異性に対して偏った見方をしがちな中学生のこの時期、「好き」という感情が、恋愛感情だけでなく、相手の内面的な良さに気づき互いの良さを認め合うことの大切さを考えさせる教材です。クラスのHUMAN（道徳性アセスメント）の結果では、「友情の尊さを理解し互いに高め合いながら人間関係を深めることができる」は、59%が「そう思う」と答え、全国平均よりかなり高くなっています。一方QUテストの結果では、「勉強や運動などで友人から認められていると思う」に対して「あまり思わない」「どちらとも思わない」と答えている生徒が21%いることから、相手の内面的な良さに気づける生徒も多いが、思っているだけで相手に伝えることが苦手な生徒も多いことがわかります。今回の授業は、思春期の中学生にとって関心がある内容でもあり、生徒からもたくさん活発な意見が出ました。生徒は意見を交換し合い、様々な友達の考え方をすることで内容を深めました。生徒の感想から、「自分の言葉で相手の未来が変わることもある」「互いの良さを認めることが大切だ」「誰かに認めてもらうことが大きな自信になる」「相手の良さを伝え誰かを勇気づけられる人になりたい」など生徒の気持ちにも変容も見られたので、これからはつなげてほしいと思ひます。



○編集後記

今回は授業の様子を中心にお伝えしました。次回は2月ごろ発行予定になります。内容についてのご意見、ご要望等ありましたら、右のQRコードから回答をよろしくお願い致します。来年もよいお年をお迎えください。

